



暮らしのかたちは変わっても
ふくしのころは変わらない

「いま」と「これから」の ふくし活動アイデア帳 【集いの場 感染予防編】

～笑顔が集う ころる温かな居場所に～

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会



- ・本誌は、赤い羽根共同募金の支援を受けて、国が示す「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や全国社会福祉協議会が示す「新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の進め方」等を参考に発行しております。
- ・あくまでもアイデアを掲載しているものであり、これらすべてを網羅しなければ活動を行ってはいけないというものではありません。

活動再開を検討する時期

1. 担い手同士で話し合う

担い手同士が感染予防を徹底し、少人数で集まるなどして、「一人ひとりが無理をせず、今できることはなにか」を話し合う。

2. 感染防止策などの正しい知識を担い手が身につける

マスク着用など厚生労働省から示されている感染防止策の効果とやり方を理解する。

3. 再開方法等を検討する

- ①「3密（密集・密接・密閉）」を避ける、手洗い・手指消毒等の基本的な感染防止策を行うなどしてなるべく感染リスクを下げる。
- ②会食、カラオケは原則控える。
- ③会場の収容定員の50%以下を目安として、2m（最低1m）の距離を取って座れる人数を計算し、参加人数を決める。
- ④1回あたりの参加人数を少なくして、実施時間を短くし、実施回数を増やすことを検討する。
- ⑤参加ルール（体温が37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上ある場合は参加しない、基本的な感染予防策を行う、特に会話や歌唱時にはマスクを着用するなど）を定める。
- ⑥必要に応じ電話・手紙・メール等を活用する。
- ⑦集いの場の活動が難しい場合は、代わりとなる活動を検討する。
(2020年6月1日発行のアイデア帳を参照ください)

4. 感染の危険箇所、場面などを確認する

- ①接触する機会の多い箇所や備品（例：テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、蛇口など）をあらかじめ確認する。
- ②飛沫が多い場面（例：大声や息が荒くなりやすい企画）を確認する。



活動を再開したら

5. 参加者が安心して参加できるように周知する

感染防止策などを盛り込んだチラシ等を配布し、安心して参加できるように伝える。

6. 会場の準備を徹底する

- ①事前に確認した消毒箇所を念入りに消毒する。
- ②入口等に手指消毒液を設置する。
- ③トイレや手洗い場にハンドソープやペーパータオルを設置する。
- ④間隔を空けた席配置をする。
- ⑤大声を出さなくて良いようにマイク・スピーカーの準備をする。
- ⑥受付で密集しないように、2m感覚に印をつける。
- ⑦参加者名簿を作成する。（不特定多数が参加する場合は、氏名・住所・連絡先を記入できる様式を用意する）
- ⑧受付に参加ルールを掲示する。

7. 当日気を付けること

- ①受付で体調確認（発熱・息苦しさ・咳などの有無など）を行う。
- ②席エチケットやマスクの着用、手洗い等の徹底を促す。
- ③1時間に2回以上換気（2方向の窓を数分程度全開など）をする。
- ④なるべく正面での対話を避け、距離を保つ。
- ⑤適宜声をかけ、水分補給を促す。

8. 活動終了後

- ①会場の清掃と消毒
- ②清掃時やゴミ捨てる際はマスクや手袋の着用を徹底する。
- ③作業後は手洗いを徹底する。
- ④帰宅後の手洗いを参加者も含め全員徹底する。



活動チェックリスト

活動前	<input type="checkbox"/> 活動前の担い手の体温測定(37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上高い場合は参加不可)
	<input type="checkbox"/> 担い手にマスク着用、手洗い・手指消毒を徹底する。
	<input type="checkbox"/> 入口等に手指消毒液を設置する。
	<input type="checkbox"/> 受付前に2m間隔に印をつける。
	<input type="checkbox"/> 手洗い場にハンドソープやペーパータオルを設置する。
	<input type="checkbox"/> 窓や入口を開けて換気を行う。
	<input type="checkbox"/> 利用前に会場、トイレ等を消毒液で消毒する。
	<input type="checkbox"/> 利用前に備品(テーブルや椅子など)を消毒液で消毒する。
	<input type="checkbox"/> 利用名簿・筆記用具を準備し、参加ルールを会場に掲示する。
活動中	<input type="checkbox"/> 参加者名簿に一人ひとり記載する。(連絡先が分からない方は連絡先も)
	<input type="checkbox"/> 受付で参加者の体調確認(発熱・息苦しさ・咳の有無など)を行う。
	<input type="checkbox"/> 参加者に手洗い・手指消毒、マスク着用、咳エチケットを注意喚起する。
	<input type="checkbox"/> 身体的距離(2m)を確保する。
	<input type="checkbox"/> 会話をする際は、互いに正面を向き合わないよう促す。
	<input type="checkbox"/> 熱中症防止のため、水分補給を促す。
	<input type="checkbox"/> 共有する備品を都度消毒する。
	<input type="checkbox"/> 重点消毒箇所を適宜消毒する。
	<input type="checkbox"/> 1時間に2回以上換気をする。
活動後	<input type="checkbox"/> ゴミは持ち帰るように促す。
	<input type="checkbox"/> 帰宅後の手洗いを促す。
	<input type="checkbox"/> 会場を清掃し、消毒する。
	<input type="checkbox"/> 清掃時やゴミ捨て時はマスクや手袋の着用を徹底する。
活動後	<input type="checkbox"/> 備品を消毒する。
	<input type="checkbox"/> 終了後、帰宅後の手洗いを担い手に促す。
	<input type="checkbox"/> 終了後、帰宅後の手洗いを担い手に促す。